

2015年11月16日

日本ユニシス 地方銀行向け「リテール戦略研究会」での FinTech に関する分科会開催を決定

- 次世代オープン勘定系「BankVision®」の新たな API 連携サービスの企画も着手 -

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：黒川 茂、以下 日本ユニシス）は、地方銀行向け「リテール戦略研究会」の分科会として、「FinTech 分科会」の開催を決定しました。

リテール戦略研究会は、「次世代オープン勘定系システム『BankVision』^(注1)」の利用行を中心に 2008 年に発足し、参加各行のリテール戦略の高度化に資することを目的に、EBM^(注2)やタブレット活用の研究など、幅広い活動を実施してきました。

また、日本ユニシスは、キャッシュレス社会の到来に向けて、本年度から全社プロジェクトとして「決済イノベーションプロジェクト」を立ち上げ、決済に関する新たなソリューションの提供を開始しており、リテール戦略研究会内でも関連する情報発信をしています。

近年、決済業務の高度化など、地方銀行を取り巻く環境は大きく変化しています。その流れを受け、日本ユニシスでは、リテール戦略研究会「FinTech 分科会」の開催を決定しました。

なお、日本ユニシスではオープン勘定系システム『BankVision』のサービス指向型の考え方を取り入れた構造と、その豊富な導入実績^(注3)を活かして、新たな API^(注4)連携サービスの企画にも着手しています。

日本ユニシスでは、『BankVision』や市場系システム『Siatol®シリーズ』^(注5)を始めとして、金融機関向けソリューションのユーザー会や研究会を長年企画運営しており、「FinTech 分科会」の開催により、その活動を一層活性化させ、関連する金融機関向けソリューションの企画・展開にも取り組んでいく予定です。

以上

注1：次世代オープン勘定系システム『BankVision』

既存勘定系システム資産と専門業務ノウハウ、最新 IT スキルを最大限に活用し、オープンプラットフォームで勘定系処理機能を提供する『BankVision』の主な特徴は以下のとおりです。

1. オブジェクト開発技法のコンポーネント化を実装し、銀行業務に最適なオブジェクトを導出したこと、これらを SOA の考え方にに基づきサービス単位でコンポーネント化（部品化）することにより、変化に対し柔軟性の高いシステムを実現。
2. テーブルウェア化の採用により、顧客層に応じたきめ細かい新商品 / 新サービスの提供や銀行経営戦略 / 収益構造変革へのスピーディな対応が可能。
3. オープン金融業務処理基盤「MIDMOST®」採用によるポータビリティ（移植性）を備えたシステム構造により、コストと安全性のベストバランスの継続的な維持が可能。
4. 銀行システムの広範な範囲を、堅牢性の高いアーキテクチャを有するミッションクリティカル・サーバー「Unisys Enterprise Server」、およびグローバルスタンダードなオープンプラットフォーム「Microsoft® Windows® Server」および「Microsoft SQL Server」にて提供し、バンキングシステム全体としての親和性と効率化を大幅に向上。
5. 営業店事務を支援するチェック / 省力化機能により、堅確化と合理化のさらなる促進を実現。
6. 店舗形態や取引パターンに柔軟に対応する営業店連携取引機能により、柔軟かつスピーディな店舗戦略立案 / 営業体制の構築が可能。

注2：EBM（Event Based Marketing：イベント・ベースド・マーケティング）

データ分析をもとに、個人属性の変化や取引行動上の変化を検知して、ニーズ発生の契機（イベント）ととらえ、顧客が必要とするタイミングで、その顧客に適切なコミュニケーションを実施すること。

注3：『BankVision』の導入実績

『BankVision』は、2007年以降、他ベンダーの勘定系システムからの更改も含めて9行で安定稼働し（10行で採用）、銀行基幹システムとして高い安全性、堅牢性を確保しています。稼働済みの9行は以下のとおりです。

1. 2007年5月稼働 株式会社百五銀行（本店：三重県津市、頭取：伊藤 歳恭 氏）
2. 2009年1月稼働 株式会社十八銀行（本店：長崎県長崎市、頭取：森 拓二郎 氏）
3. 2010年1月稼働 株式会社筑邦銀行（本店：福岡県久留米市、頭取：佐藤 清一郎 氏）
4. 2010年5月稼働 株式会社紀陽銀行（本店：和歌山県和歌山市、頭取：松岡 靖之 氏）
5. 2010年5月稼働 株式会社佐賀銀行（本店：佐賀県佐賀市、頭取：陣内 芳博 氏）
6. 2011年1月稼働 株式会社山梨中央銀行（本店：山梨県甲府市、頭取：進藤 中 氏）
7. 2011年5月稼働 株式会社鹿児島銀行（本店：鹿児島県鹿児島市、頭取：上村 基宏 氏）
8. 2014年1月稼働 スルガ銀行株式会社（本店：静岡県沼津市、社長：岡野 光喜 氏）
9. 2015年1月稼働 株式会社北國銀行（本店：石川県金沢市、頭取：安宅 建樹 氏）

注4：API（Application Programming Interface：アプリケーション・プログラミング・インターフェイス）

あるソフトウェアコンポーネントが提供する機能を、他のソフトウェアコンポーネントから利用する際に必要なインターフェース情報。

『BankVision』がAPIを公開することで、他システムから『BankVision』の持つ勘定系機能を容易に利用・連携でき、新しい金融サービスを生み出す効果が期待できます。

注5：Siatolシリーズ

金融機関の市場関連部門で必要とされるフロント・バック・ミドル機能を網羅し、資金証券業務全般をカバーする日本ユニシスの市場系システムです。

BankVision、Siatol、MIDMOSTは、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、SQL Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

関連リンク

次世代オープン勘定系システム『BankVision』

<http://www.unisys.co.jp/solution/bankvision/>

決済関連サービス

<http://www.unisys.co.jp/solution/biz/settlement/>

総合資金証券管理システム Siatol-NE

<https://www.unisys.co.jp/solution/lob/fs/siatol/index.html>

次世代オープン勘定系『BankVision』の利用行向けマイナンバー制度対応機能を開発

https://www.unisys.co.jp/news/nr_150908_bankvision.html

*掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。